

2019年  
6月号  
NO. 0082

カトリック笹丘教会  
教会ニュース

福岡市中央区笹丘 1-16-1  
TEL761-4504 fax761-4524  
広報委員会

福岡教区 2019年の目標 「信じる喜びから伝える喜びへ」

悲慘な現実の中で



主任司祭 遠山満

先日、川崎市で、悲慘な事件が起こりました。それは、今年の三月、笹丘教会から転出され、川崎市に引っ越された方が、四月から勤務され始めた学校の生徒を巻き込む事件でした。事件によって、亡くなった子供と保護者の方には、永遠の安息が、遺され、心身の傷によって苦しんでいる人々には、癒しと慰め、希望が与えられますよう、お祈り致します。

このような事件が起こる度に議論になる事は、どのようにして子供達を、この手の犯罪から守るかと言う事です。大阪の池田小で事件が起こった時も同じような議論が起こりました。どのようにして、子供達を守るかという議論です。私は、その時、長崎におりました。幼稚園関係の集まりで、会議に加わっていた一人のシスターが、「子供を、そのような犯罪から守る事にも関心がありますが、それ以上に、子供がそのような犯罪を起こす大人にならないように保育したいと思います」と仰った事が印象に残っています。

ところで、今度、事件を起こした人について、犯罪心理学者は、「自殺願望のある人物が無関係の人を巻き込んで自殺」を図った事件と分析しております。「自分一人では死にたくない」と言う思いは、誰にでもあるのではないのでしょうか。問題は、「死にたい」と言う思いです。この人の場合、長い間閉じ籠っていた事が、「死にたい」という思いに繋がりました。私達は、自分がこの世に生きていても、無用なのではないかと思える時、「死にたい」と言う思いが生じて来ます。自己有用感が無くなる時、自己価値感情を失う時です。ただ、健全な形での自己価値感情は、社会から貰えない事があります。社会は時に残酷で、人を正しく評価しない事が多々あるからです。それでは私達は、どこで、自己価値感情の充足を図ればよいのでしょうか。イエス様の所です。イエス様こそ、私達を正しく評価して下さい、私達一人一人が価値ある者、また人生は生きるに値するものである事を教えて下さる方です。

イエス様は、「疲れた者、重荷を負う者は、誰でも私の元に来なさい。休ませてあげよう」(マタイ 11・28)と言われました。このイエス様を、周囲の人々に宣教して参りましょう。その為に、私達がいつも、イエス様を私達の避難所としていく事ができますように、共に祈りましょう。

2019年6月2日

## 拡大信者会議事録

信者会館ホール 11:40~12:30

司会 辻部副会長 書記 前田

### 【始めの祈り】

川崎で起きた事件の被害者のために

### 【主任司祭より】

年間スケジュール、一人一役など 粘り強くやっていきましょう。拡大信者会は継続的に出席されている方で検討されるといいと思いますのでよろしくお願いします。

### 【議題】

#### 1. 笹丘小教区規約について

会長より

信者会規約についてはこの1年かけて作っていきたい。

(1) 規約制定までのスケジュールは別紙(会長案)

① 今月の役員会に小教区規約の(案)を提出したい。

② 役員会、拡大信者会で検討を重ね、全世界帯に規約案を配布し、最終案を来年度の信者会総会に提案したい。

#### 2. 一人一役について

会長より

一人一役についても別紙のとおり進めて軌道にのせていきたい。

質疑応答

(質疑)

一人一役のリーダーは2年前に決めたがその方がグループの方を集めて会議をするということですか

(会長)

2年前からするとメンバーも変わっているので再度集まってリーダー、具体的な活動内容を検討してほしい。

#### 3. その他

\* 博多にきんしゃい6について(実行委員会からの提案を会長が報告)

(1) 福島の子供たちを福岡に呼ぶ。今年は8月2日から5日の予定

(2) 初日2日の「歓迎納涼会」を笹丘でやってほしい。企画は実行委員が行うので場所の提供、お手伝いなど協力要請。経費については、会館等の使用料、及び水道、電気などは笹丘負担でお願いしたい。その他の費用は実行委員会が負担するが、自由献金をお願いする場合がある。

\* 次のような意見が出された。

◎ 近隣の方々へ、事前に行事への周知のお知らせを配布したほうがよいのではないか。

◎ 子どもたちが参加することによって福島のことを考える良い機会になるのでたくさん  
の子どもが参加したほうが良い。

◎ 神学生より 会場を神学校でできないか。(院長様の許可がもちろん必要ですが。)との  
提案があり、実行委員会に検討するよう報告する。

【終わりの祈り】

長崎教区に補佐司教任命の発表があったが、福岡教区は司教空位となっている。教区の一致  
のために祈る。



新年度役員紹介



会長  
川原義広



副会長  
辻部大介



前田美由紀



書記  
井口剛



牧山幸二



信徒会会計  
田川浩二 菅美樹



信徒協担当  
畠山真理男



地区女性の会担当  
川原圭子



女性の会補佐  
喜多村由布子



どうぞよろしくお願いたします



# 小教区規約・一人一役取り組みスケジュール

月	小教区規約			一人一役
	役員会	拡大信者会	総会・全信徒	
6	6/15 会長(案)提出	6/2 スケジュール提案		
7	7/20 会長(案)検討 ①			グループⅠ 営繕・防災、 宣教司牧チーム
8				
9	9/21 拡大信者会(案)検討 ③	9/1 役員会(案)検討 ②		グループⅡ 典礼、広報チーム
10	10/19 検討 ⑤	10/6 検討 ④		グループⅢ 福祉、バザーチーム
11	11/16 検討 ⑦	11/3 検討 ⑥		
12	12/21 検討 ⑧			
2020/1	1/18 規約(案)決定 ⑨		1/26 規約(案)全世帯配布	
2			規約(案)意見集約 ⑩	
3	3/21 最終(案)決定 ⑫	3/1 意見集約(案)検討 ⑪		
4			4/26 採択 欠席者委任状	



## 信仰のルーツコーナー

『私の祖先 私を創ってくれた人のルーツを語る』

—— その10 ——

匿名希望

長崎に原子爆弾が落ちたその日、私の父と父の長兄は友人を探すため、被爆直後の街をさまよった。亡くなった人の顔をひとりひとり見て周り、うつ伏せの遺体を仰向けにひっくり返して確認した。どれだけの数の遺体を見たかわからない。その間もかろうじて生き残った多くの人達が、父達に助けを求めてきた。皆一様に全身焼けただれ、髪は縮れ皮膚は剥がれ、中には自分の落ちた眼球を手に乗せて、座り込んでいる人もいた。そんな人々の助けを父はことごとく無視し、振り払い、黒焦げの遺体を踏みながら、兄とともにひたすら友人を探した。「あんときは心が凍ったごととなつとった」と、後に父は言った。結局その日は友人を見つけることができず、父と長兄は一旦家に帰り、翌日朝早くから再度二人で出かけた。そしてある救護所で、兄の名を呼ぶ微かな声が聞こえた。声の方に駆け寄ると、全身火脹れし、顔も腫れあがった男性が横たわっていた。兄は彼の声を聞いて、探していた友人だとわかった。彼は腫れた顔の細くなった目から一筋の涙を流しながら兄に言った。「おまえ、昨日さぼってよかったな」

父と長兄は友人を彼の自宅まで運ぼうとした。そして長兄が友人を背負うために体を起こそうと彼の両手を掴んだ瞬間、両手の皮がずりりと剥がれた。友人は悲鳴をあげた。父達は背負うのを諦め、担架代わりに板を探し、その上に彼を乗せた。父と兄は友人を乗せた板を持ち、焼け野原の街を黙々と歩いた。途中瓦礫の中に挟まれた遺体を踏んだときの、バキ、ぐしゃ、とした足の裏の感触を今でも忘れないと、後に父は私に言った。そうして数時間かけて友人を自宅まで運んだが、すでに彼は息絶えていた。

長兄は父に、原爆が落ちた日の朝のことから友人の死に至るまでの一連のことを、決して口外しないように、強く言った。友人が最期に言った「さぼってよかったな」の一言が、二人の心底に焦げ付きのように残り、その後の生涯に亘って消えることはなかった。【次月につづく】



5月号 記載訂正

【誤】 — その10 —

↓

【正】 — その9 —



## ようこそ笹丘教会へ 司牧実習生紹介



### マキシミリアノ・マリア・コルベ 桑原篤史 神学生

笹丘教会の皆さん、初めまして、聖アウグスチノ修道会の桑原篤史と申します。出身は北九州：黒崎教会です。2016年8月11日に東京の葛西教会で初誓願のお恵みを頂きました。その際には、笹丘教会から多くの霊的花束をありがとうございました。私は普段アメリカ合衆国のイリノイ州にあるシカゴという街で、アウグスチノ会の神学生約15名ほど(毎年人数が変わる)と一緒にアウグスチノ会の修道院：養成の家で生活しており、近くにあるCTU(Catholic Theological Union)という学校で、多くの他の修道会(フランシスコ会、箴言会、聖心会など他)とともに哲学・神学を学んでいます。今年の8月末からは日本に戻って一年間日本で司牧実習をしております。先月の5月初旬まで長崎の城山教会でお世話になり、笹丘教会では5月7日から7月14日まで実習をさせて頂く予定です。呼び名は何でも構いません。桑原さん、桑原神学生、ブラザー、ブラザー桑原、呼びやすい名でどうぞ気軽に声をかけてください。私も皆さんと早く知り合えるように声をかけさせて頂きたいと思います。皆さんがいつも唱えて下さっている「召命を求める祈り」のお陰でどんなに助けられていることでしょう。これからもどうぞ宜しくお願いします。



編集後記 自然災害、人的災害・・・悲しいことが続きます。平和に過ごせませうよう、努力したいものです。

広報委員会の紹介をさせていただきます。



齊 葵 今年1月より新メンバーとして活躍中です。積極的に携わっています。頼もしい一員です。



辛嶋 文子 新しい教会が出来てからの広報委員。リーダー的存在です。



西山 淳子 新しい教会が出来てからの広報委員。現在は責任者の自覚で努めています。現在この3名でそれぞれの得意分野を生かしながら作成しています。メンバーは常に募集中です。

(西山記)